

エフ・エス株式会社

第 3 4 期

決 算 公 告

1. 貸借対照表

貸 借 対 照 表

(2022 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	366,356	流動負債	121,578
現金及び預金	194,432	買掛金	32,244
売掛金	106,692	未払金	54,245
商品	15,663	未払費用	4,203
前払費用	13,745	賞与引当金	15,473
未収入金	24,255	その他	15,411
その他	11,567		
固定資産	78,804	固定負債	142,385
有形固定資産	11,889	退職給付引当金	120,273
建物	3,659	役員退職慰労引当金	22,112
建物附属設備	3,892		
車両	710		
工具器具備品	3,627	負債合計	263,963
無形固定資産	3,198	(純資産の部)	
その他	3,198	株主資本	
		資本金	50,000
投資その他の資産	63,715	利益剰余金	131,196
差入保証金	35,355	利益準備金	12,500
繰延税金資産	18,598	その他利益剰余金	
その他	18,297	繰越利益剰余金	118,696
貸倒引当金	△8,535		
		純資産合計	181,196
資産合計	445,160	負債・純資産合計	445,160

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 当期純損益金額

当期純利益：△4,227 千円

3. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

・ 商品	総平均法による原価法
------	------------

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産	定率法によっております。 ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（附属設備を除く）並びに平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。
②無形固定資産	定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金	貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
②賞与引当金	従業員の賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当事行年度に負担すべき額を計上しております。
③退職給付引当金	従業員の退職給付に備えるため、退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。
④役員退職慰労引当金	役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる事項

消費税等の会計処理	消費税等の会計処理は税抜方式によっております。
-----------	-------------------------

以上